

# 児童たちに「緑の広場」



富山市の星井町五番町小と清水町小が統合し、四月に開校する中央小（五番町）に、県内小中学校で初となる人工芝グラウンドが完成した。市教委によると、整備に使用した人工芝は東京ドームと同じくらいすうだ。

## 4月開校の富山・中央小

# 人工芝グラウンド完成

ムプ  
ーイ  
ドタ  
京同  
東と

中央小に完成したグラウンドは、「ロングパイル人工芝」は、敷地面積三千百八十五平方尺。使った人工芝は、柔らかいチップを組み合わせ、転倒の際に身体への衝撃を軽減し、静電気の発生がほとんどないため、やけどの心配もないという。

芝園小は天然芝グラウンド

一方、旧総曲輪、旧八人町、旧安野屋、愛宕の四小が統合し、芝園中と一体で整備が進められている

### 柔らかか、ふかふか たくさん遊んで

様々な活動に対応できる機能アップを図ることで児童の利用率を上げるとともに、街なかの学校という条件から、近隣住宅への砂じん対策もあり、人工芝を導入した。

四月から開校する中央小に完成した人工芝グラウンド

芝園小（芝園町三丁目）グラウンドは、県内初の天然芝（敷地面積二千七百九十七平方尺）となる。芝は冬でも枯れない寒地型と暖地型の混合タイプのため、一年を通じて緑の景観を保つ。将来的には芝の維持管理を児童が担当し、教育活動に役立てる予定である。

富山市五番町